

# 明石市における心理職活用の実際と 公認心理師の可能性

いずみ

泉

ふさ ほ

房穂

明石市長・弁護士・社会福祉士

# 今日の講演の流れ

## 一 自己紹介

～私と心理職との関わり～

## 二 明石市における心理職の活躍

## 三 専門職としての心理職への期待

## 四 学生へのメッセージ



# 一 自己紹介

## 泉 房穂(いずみ ふさほ)



- 1963年 明石生まれ
- 弁護士
- 社会福祉士
- (一財) 日本心理研修センター 評議員
- 播磨社会復帰促進センター 初代篤志面接委員
- 元衆議院議員
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長 (現在2期目)
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人

# 私と心理職との関わり

## ①大学時代

教育学部で哲学を専攻し、**教育心理学**も学ぶ

## ②弁護士時代

町弁として、**少年事件**に数多く携わる

## ③国会議員時代

**2 資格 1 法案**が議論された時代

## ④社会福祉士・弁護士時代

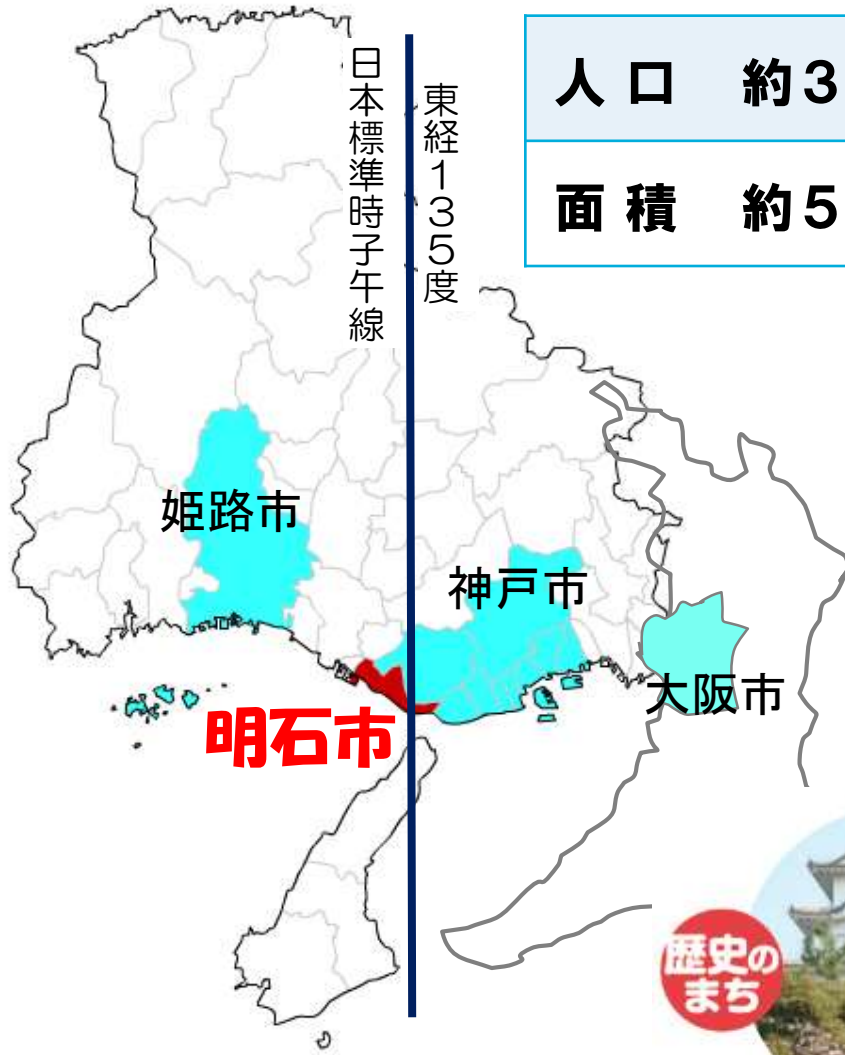
**更生支援**の活動 播磨社会復帰促進センターなど

…そして、市長に



# 二 明石市における心理職の活躍

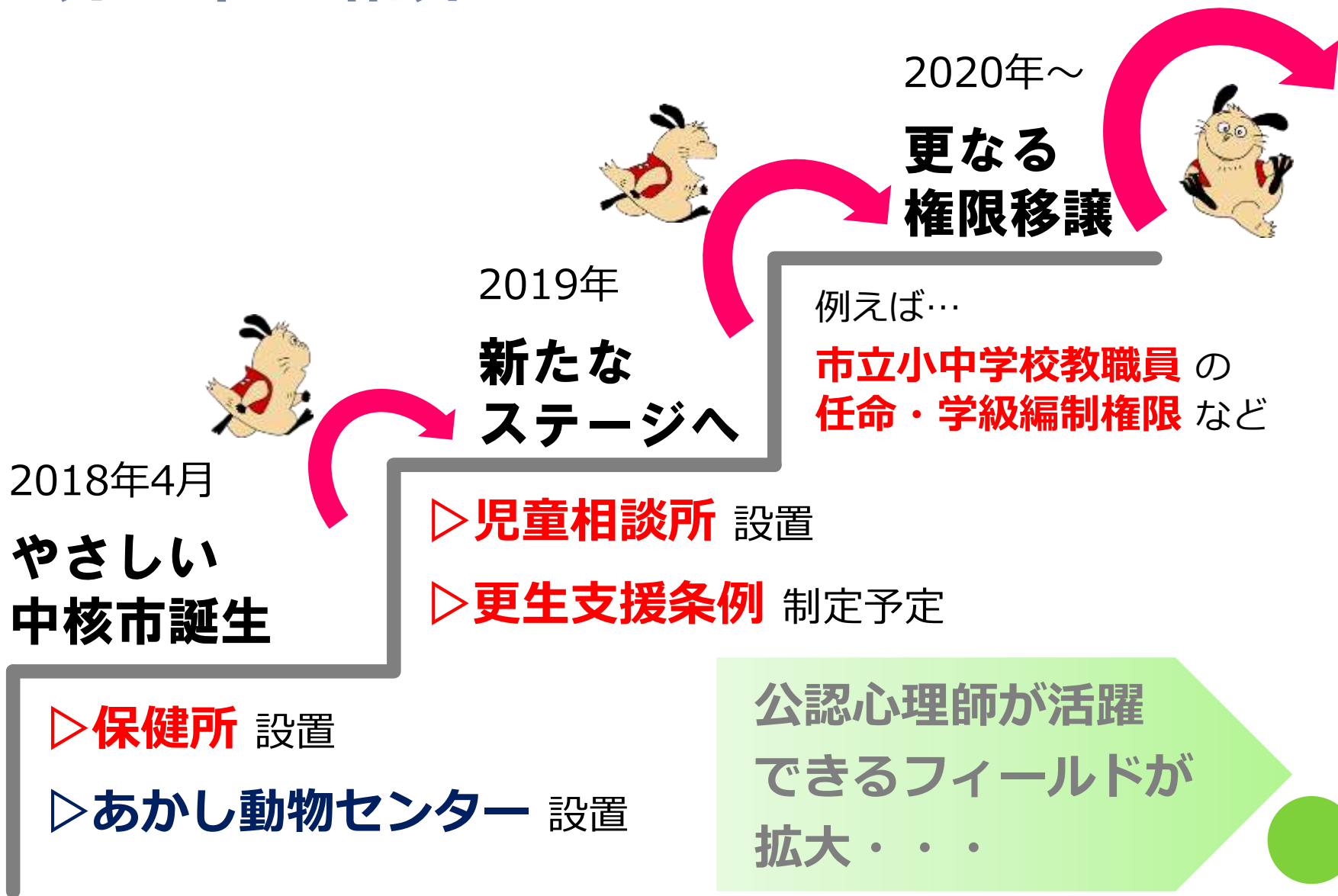
## 明石市の紹介



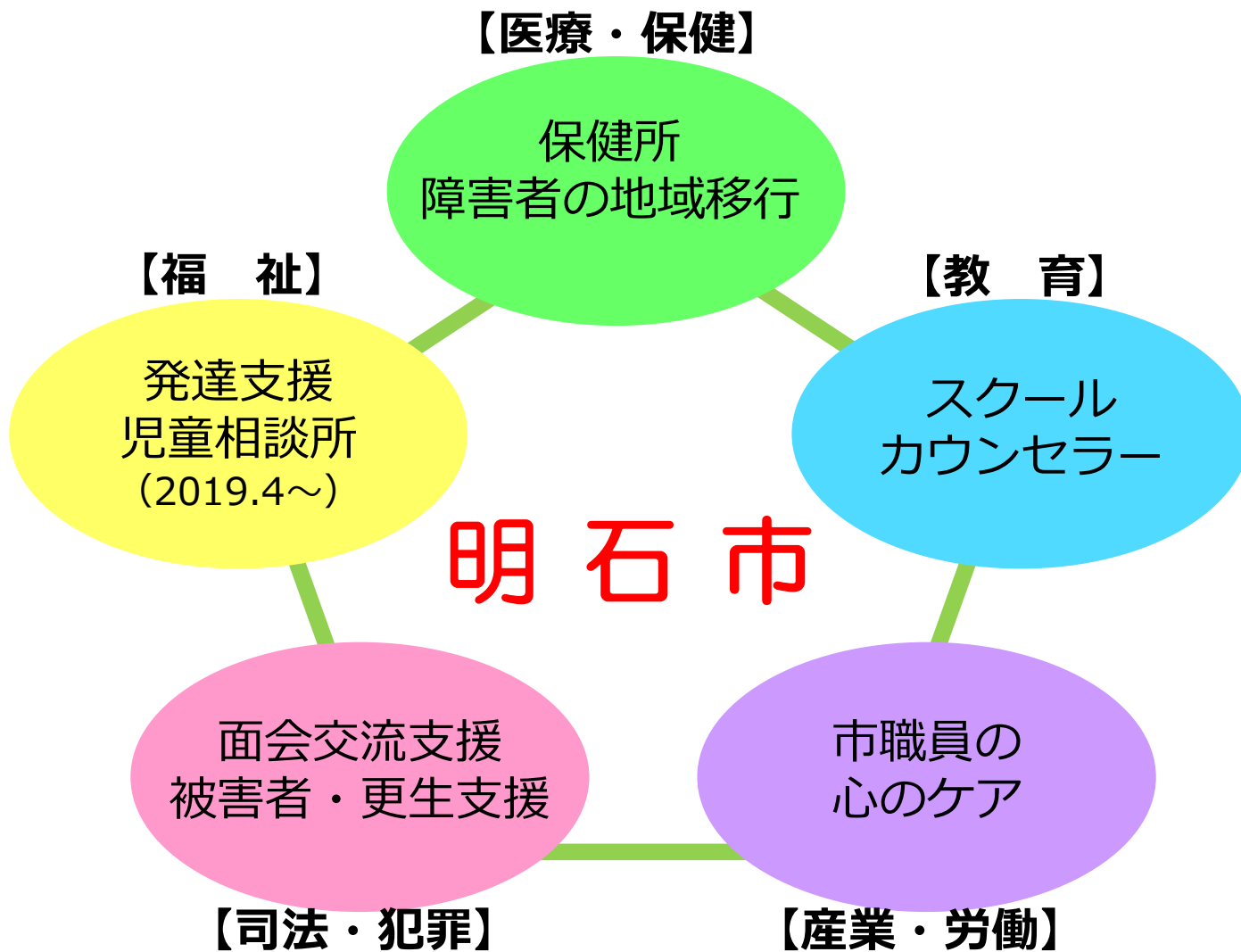
|    |                    |
|----|--------------------|
| 人口 | 約30万人              |
| 面積 | 約50km <sup>2</sup> |



# 明石市の紹介



# 心理職の活躍フィールド



# 明石市における活躍の例①

## 【教育】スクールカウンセラー

### ◆役職・位置づけ

- これまでは、5年間の任期付職員だったが、今年度から、**福祉職の正規職員**に（任期なし）
- 教育委員会事務局 児童生徒支援課に、係長として配属

### ◆担当業務

- 支援が必要な児童・保護者との**継続的な面談**
- 現場の**教職員への助言**  
（校内ケース検討会議への参加）等々・・・



# 明石市における活躍の例②

## 【福祉】発達障害者支援



### ◆役職・位置づけ

- **福祉職の正規職員**（任期なし）
- 明石市立 **発達支援センター** に、係長として配属

### ◆担当業務

- **ライフステージを通じた** 継続的な **支援**  
（相談支援・発達支援・就労支援）
- 支援機関への **巡回相談**、  
関係者支援会議の開催 等々 . . .



# 明石市における活躍の例③

## 【司法】離婚後の面会交流支援

### ◆役職・位置づけ

○非常勤嘱託職員として、**面会交流の実施に  
合わせて勤務**（月3～4回程度）

### ◆担当業務

○面会交流の**事前面談、  
コーディネート、当日の立ち会い**  
○ひとり親家庭総合相談会での  
離婚後の子育てガイダンス 等



### 三 専門職としての心理職への期待

#### 現代の自治体を取り巻く現状

- ・ **国からの権限移譲**

- ▷ 自治体の自己決定の場が増加

- ・ **市民ニーズの多様化・複雑化**

- ▷ 高い専門性が必要

重要施策の推進・市民サービス向上のためには…

**専門職**の活用が不可欠



## 明石市で働く専門職員 (H30. 4時点)

弁護士：7名

社会福祉士：8名

臨床心理士：4名

精神保健福祉士：5名

手話通訳士：2名

その他福祉職：5名

その他専門職：3名

計 32名

※複数資格保有者あり

各専門職団体の協力を得て、**全国から公募**

## 明石での活動実績

- ▷ いじめ総合相談窓口開設
- ▷ 障害者支援
- ▷ 離婚前後のこども養育支援
- ▷ 無戸籍者支援
- ▷ 犯罪被害者等支援
- ▷ 更生支援（再犯防止）

**様々な場面で、  
それぞれの専門性をいかして活躍中**



# 明石市の専門職採用の特徴

- **常勤の正規職員である**（任期は5年、一部は任期なし）
  - ▷ 緊急的な支援が必要な時に、すぐに動ける
  - ▷ 継続的な支援が可能
- **職種ごとに一人ではなく、複数採用**
  - ▷ 個人の考えだけを正解としない
  - ▷ 互いに情報・意見交換しながら成長
- **一般行政職の仕事もする**
  - ▷ 普段から市民ニーズや地域課題を共有
  - ▷ 庁内外との信頼関係を構築



# 専門職活用の意義

## ① チームアプローチ

▷ 他職種や行政職との連携



## ② アウトリーチ

▷ 市民の枕元へ

## ③ ワンストップ

▷ 一体的な支援を



明石市で活躍する専門職員

# 発達支援センターでの具体的なケース

## 【主訴】 こどもの発達障害

→心理職が相談対応した結果、  
世帯全体が抱えるいろいろな問題が明らかに



祖父母の介護

経済的困窮

親の精神疾患

…等々

▷社会福祉士や担当部署のケースワーカー等と  
連携し、**チームアプローチ**で全体的な支援へ



# 学校現場での具体的なケース

## いじめの相談

→まずは心理職が子どもから聞き取り

→問題解決に当たって、法的な論点が出てきた  
場合には、スクールロイヤーに相談

すぐに弁護士に相談  
できるので、安心感を  
持って対応できる

心理職は学校外の立場として  
関われるため、困りごとを  
抱えた教職員が相談しやすい



# 専門職に求めること

- ① **高く**   ▷ 専門性の向上  
                  社会情勢に即して
- ② **広く**   ▷ 知識の幅を広げる  
                  人的ネットワーク
- ③ **強く**   ▷ 専門職としての誇り  
                  社会的影響力の向上



## 四 学生へのメッセージ

市民・国民のため **“使命感”** を  
持って現場に出る！



広く社会と関わりを持つ！



# そのために必要なのは…

## ① やさしさ

▷ 想像力、真摯に聞く姿勢

## ② かしこさ

▷ 洞察力、本質を見抜く力

## ③ ほんの少しの強さ

▷ 責任感、諦めない勇気

